

用語の解説



(歳出の部)

- 目的別**
- 民生費／高齢者・児童・障害者福祉などの経費
 - 総務費／電算システムや戸籍・住民登録・庁舎の維持管理などの経費
 - 公債費／借入金（市債）の返済金と利子の支払い
 - 土木費／道路・河川・公園・市営住宅の整備などの経費
 - 教育費／学校教育や生涯学習などの経費
 - 衛生費／保健活動やごみ処理などの経費
 - その他の支出／議会費、労働費、農林業費、商工費、消防費、災害復旧費など
- 性質別**
- 扶助費／生活扶助・教育扶助などの経費
 - 物件費／施設の保守管理・一般事務経費
 - 普通建設事業費／道路の新設・改良や施設の新増築などの経費
 - 災害復旧事業費／台風などで被害を受けた施設の復旧のための経費
 - 繰入金／一般会計から特別会計・企業会計への負担金や補助金など
 - 積立金／学校建設など、特定の目的のための積立て

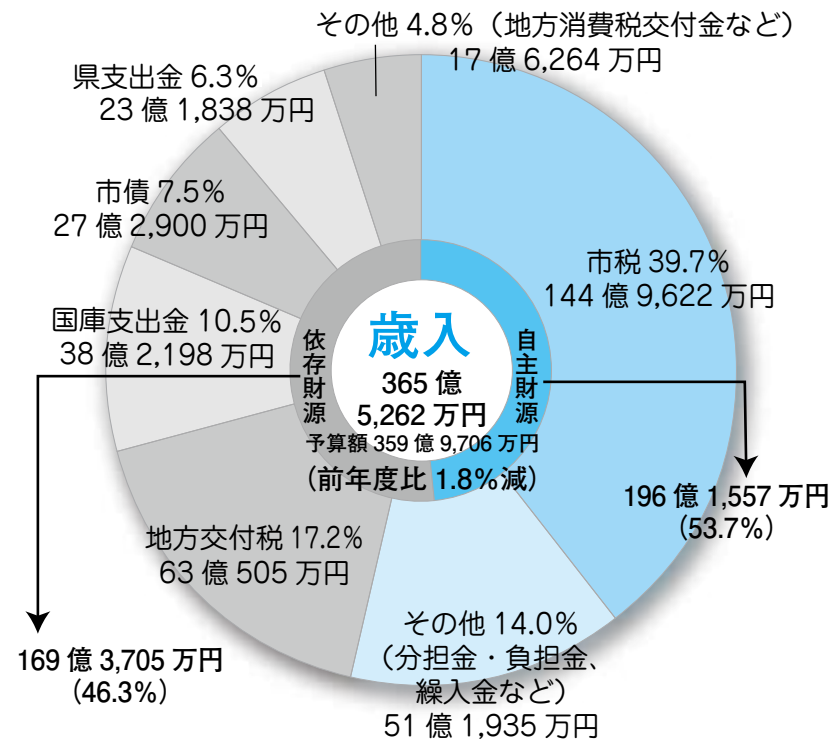
(歳入の部)

- 市税／市民税や固定資産税などの市に納められた税金
- 分担金および負担金／保育所入園者の負担金など
- 繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金
- 地方交付税／市町村の実情に合わせて国から交付されるもの
- 市債／市が借り入れるお金
- 国庫（県）支出金／国（県）からの補助金、負担金など
- 自主財源／市が独自に収入するもの
- 依存財源／国・県などから交付されるもの

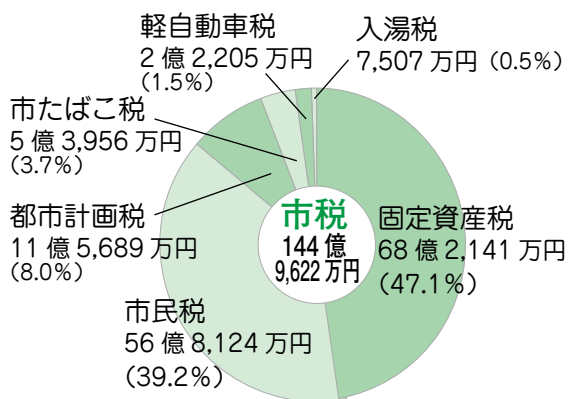
歳入

歳入総額は、365億5,262万円で、前年度決算額と比べ6億6,722万円（1.8%）の減でした。その主な要因は、市債が地域振興基金創設終了などにより、前年度に比べ24億4,520万円（47.3%）の減となったことです。自主財源では、2年度続いて減であった市税が、前年度に比べ99,455万円（0.7%）の増となりました。このほか、前年度繰越金（128.1%）の増となりました。依存財源では、国庫支出金が、経済対策関係交付金の減などにより、減額となりました。また地方交付税は、合併特例債の元利償還開始などにより、増額となりました。全体として、自主財源の構成比は53.7%となり、前年度の48.4%と比べ5.3ポイントの増となりました。

歳入の内訳（構成比）



市税の内訳



市の財産

有価証券	4,022万円
土地	2,352,472㎡
建物（延面積）	318,629㎡

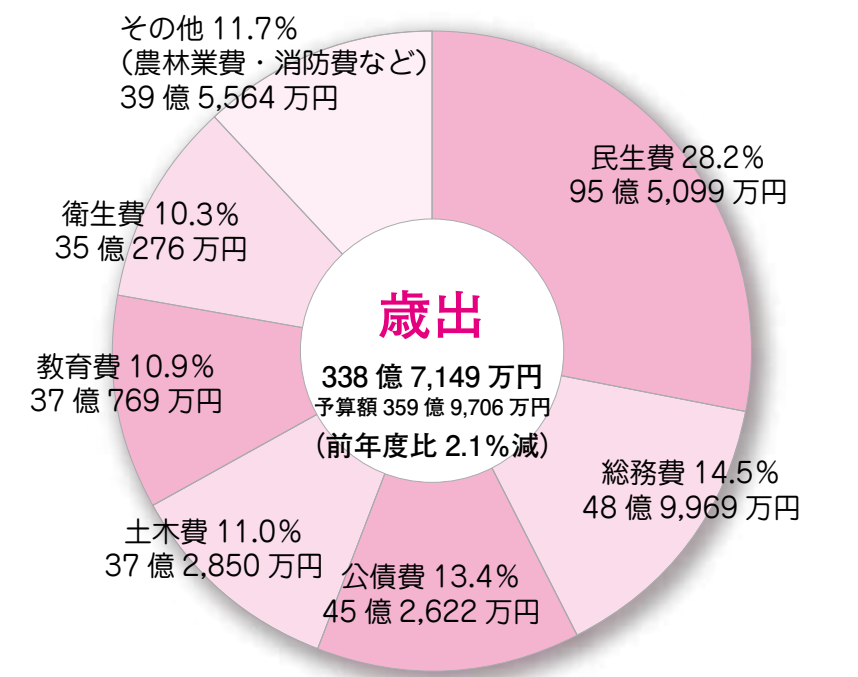
※平成23年度末現在



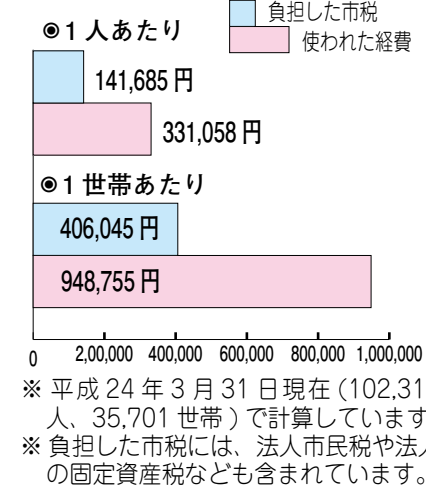
歳出

歳出総額は338億7,149万円で、前年度決算額と比べ7億4,201万円（2.1%）の減でした。平成23年度は、東日本大震災の発生を受け、さまざまな被災地支援事業の実施や災害備蓄品の拡充など、防災・災害対策事業を実施しました。民生費では、各種障害福祉サービス事業の推進、子ども手当の増額および子育て応援プレミアム金券事業を実施しました。土木費では、横井中央線などの幹線道路整備事業、大草住宅第4期建設事業の着工、中心市街地の活性化を図るため中心市街地交流拠点施設整備を推進し、新図書館、こども館を整備しました。教育費では、六合東小学校の増築工事、田代の郷陸上競技場整備に着工しました。衛生費では、新たな予防接種助成事業（子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌）を開始し、また、伊太田地区に市営霊園を整備しました。

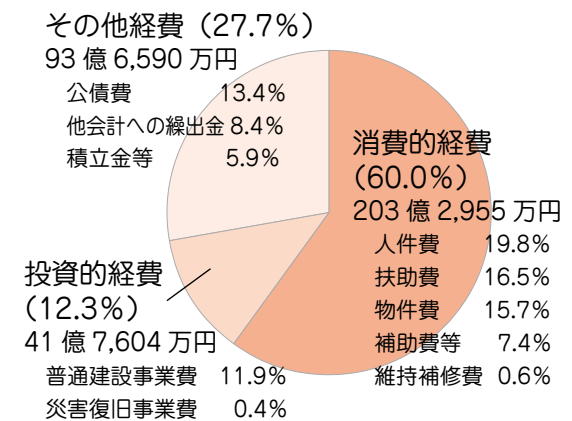
歳出の内訳（構成比）



1人あたりの負担した市税と使われた経費



歳出予算の性質別内訳



お知らせします 市の財政状況

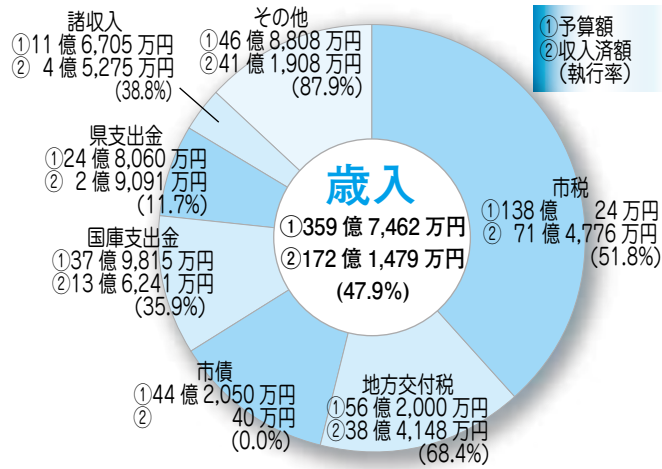
問 財政課 36-7123

市では、市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月の年2回「市の財政事情」を公表しています。今回は、平成23年度の決算と平成24年度上半期（4～9月）の予算執行状況についてお知らせします。

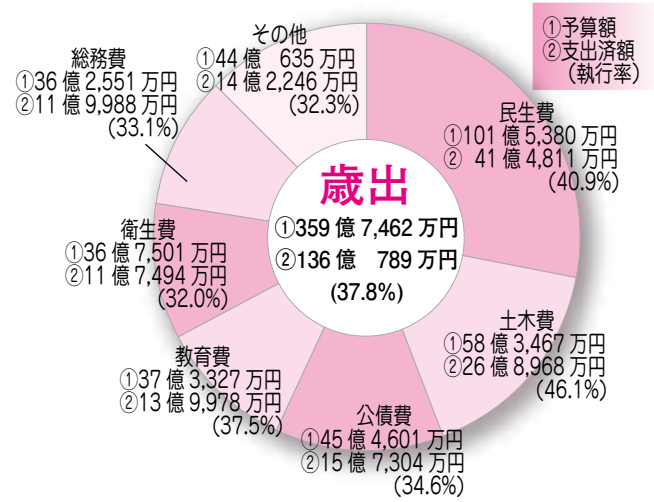
平成 24 年度上半期執行状況 (平成 24 年 9 月 30 日現在)

◆一般会計執行状況 予算額 359 億 7,462 万円

【歳入の内訳】



【歳出の内訳】



※歳入・歳出とも、円グラフは、予算額の構成率を示しています。

◆特別会計執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	99 億 1,188 万円	40 億 94 万円	43 億 2,398 万円
簡易水道	1 億 3,823 万円	5,125 万円	3,750 万円
土地取得	5 億 554 万円	4 億 9,258 万円	0 万円
休日急患診療	1,348 万円	1,326 万円	440 万円
公共下水道	8 億 9,529 万円	3 億 8,041 万円	2 億 9,654 万円
介護保険	70 億 9,675 万円	28 億 989 万円	27 億 5,026 万円
介護サービス	6,459 万円	3,822 万円	2,325 万円
後期高齢者医療	11 億 201 万円	3 億 4,396 万円	2 億 1,983 万円



8月5日にオープンしたこども館

◆企業会計執行状況

会計名	区分	収入		支出	
		予算額	収入済額	予算額	支出済額
水道事業	収益的	9 億 8,605 万円	4 億 6,400 万円	9 億 7,713 万円	2 億 9,076 万円
	資本的	2 億 2,514 万円	732 万円	5 億 1,359 万円	6,728 万円
	合計	12 億 1,119 万円	4 億 7,132 万円	14 億 9,072 万円	3 億 5,804 万円
病院事業	収益的	126 億 9,540 万円	62 億 4,621 万円	128 億 1,090 万円	54 億 7,161 万円
	資本的	5 億 7,127 万円	0 円	8 億 5,344 万円	4 億 1,227 万円
	合計	132 億 6,667 万円	62 億 4,621 万円	136 億 6,434 万円	58 億 8,388 万円

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	102 億 6,998 万円	98 億 5,388 万円
簡易水道	1 億 553 万円	9,972 万円
土地取得	4 億 8,117 万円	4 億 8,117 万円
休日急患診療	2,109 万円	1,190 万円
公共下水道	7 億 6,248 万円	7 億 4,760 万円
介護保険	62 億 7,338 万円	62 億 5,226 万円
介護サービス	7,071 万円	4,764 万円
後期高齢者医療	9 億 3,070 万円	9 億 197 万円

会計名	区分	収入	支出
水道事業	収益的	9 億 7,652 万円	9 億 3,533 万円
	資本的	1 億 1,165 万円	3 億 5,405 万円
	合計	10 億 8,817 万円	12 億 8,938 万円
病院事業	収益的	128 億 8,974 万円	123 億 8,391 万円
	資本的	7 億 6,960 万円	10 億 9,337 万円
	合計	136 億 5,934 万円	134 億 7,728 万円

※資本的支出に対する資本的収入の不足は、留保資金などにより補てんします。

用語の解説



(水道事業)

収益的収入／水道料金など
 収益的支出／人件費、受水費など
 資本的収入／借入金など
 資本的支出／水道管の布設工事費など

(病院事業)

収益的収入／検査料、入院料など
 収益的支出／人件費、薬品や医療材料の購入費など
 資本的収入／市の一般会計からの出資金など
 資本的支出／医療機器購入費など



被災地への呈茶慰問 (福島県南相馬市)

会計	費目	平成 23 年度末	平成 22 年度末
一般会計	総務	42 億 1,425 万円	48 億 2,119 万円
	民生	3 億 7,933 万円	4 億 5,173 万円
	衛生	44 億 9,663 万円	50 億 1,215 万円
	農林業	11 億 8,116 万円	12 億 6,552 万円
	商工	1 億 6,180 万円	2 億 2,711 万円
	土木	106 億 7,717 万円	112 億 3,789 万円
	消防	7 億 5,581 万円	8 億 3,460 万円
	教育	53 億 171 万円	55 億 6,002 万円
	災害復旧	2,201 万円	2,635 万円
	その他	156 億 3,136 万円	144 億 8,361 万円
	計	428 億 2,123 万円	439 億 2,017 万円
特別会計	国民健康保険	2 億 円	0 円
	簡易水道	2 億 3,697 万円	2 億 6,004 万円
	公共下水道	46 億 3,632 万円	47 億 8,294 万円
企業会計	計	50 億 7,329 万円	50 億 4,298 万円
	水道事業	15 億 16 万円	15 億 3,998 万円
	病院事業	30 億 6,012 万円	31 億 2,298 万円
合計	45 億 6,028 万円	46 億 6,296 万円	
合計	524 億 5,480 万円	536 億 2,611 万円	
市民 1 人当たり(※)	512,689 円	521,300 円	

※各年度 3 月 31 日現在の人口 (平成 23 年度 102,313 人、平成 22 年度 102,870 人) で計算しています。

◆特別会計決算

国民健康保険事業や公共下水道事業などの 8 事業は、一般会計と経理を区分して、事業の収支を明確にするために、それぞれ個別に特別会計を設けています。各特別会計は、保険税や保険料、下水道料金や国庫支出金などにより運営しています。平成 23 年度決算額は、次のとおりです。

◆企業会計決算

公営企業は、利用者からの料金により、公共の利益を目的に経営する事業で、水道事業および病院事業を公営企業会計により運営しています。各事業の運営費を「収益的支出」、それに充てる料金収入などを「収益的収入」といい、事業に必要な施設・設備の整備費を「資本的支出」、企業債などその財源を「資本的収入」といいます。

◆借りているお金